

〈ぶんぶんぶん、ハチが飛ぶ〉

今、中国野菜の紅菜苔が満開の時期を迎えている。花を愛でるために育てたわけではないのだが、菜の花の一つとして早春の畑に彩を添えている。今日は3月並みの陽気で、この暖かさに誘われてかたくさんのミツバチが飛び回っていた。その数約20~30匹ほど。そばに行ってみると、“ヴォーヴォー”と羽音が聞こえてくる。トンネルの中で聞く車の音のようだ。花から花へとせわしなく動き、頭を突っ込んで盛んに蜜を集めている。



動きが早くてなかなか写真も撮りにくいのだが、撮った写真をよく見ると、後足に花粉団子がついているのが見える。蜜を吸っている間に足には花粉をつけるという同時作業。この団子は巣に持ち帰って貴重な栄養源として使われる。これからどんどん暖かくなりいろいろな花が咲き出す。ミツバチにとっては忙しい一年の始まりだ。だが、子育てのためにせっせと集めたハチミツの多くは人間に横取りされてしまう。こんな小さな体でスプーン一杯のハチミツを集めるのはどれほど大変か、心して食べないと罰が当たる。